

令和 8 (2026) 年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
修士課程入学試験案内
生物統計情報学コース

注意：本案内以外に、本学府学生募集要項についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

1. 入学願書作成に関する注意

- (1) 入学願書は、コースにより記入項目が異なるので、十分注意して選択し、1 コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書で選択したコースに出願したものとして取り扱う。
- (2) 「外国語（英語）受験方法」欄は、該当する項目を選択すること（「外国語（英語）試験について」参照）。
- (3) 「一般選抜／特別選考枠」欄は、該当する項目を選択すること。
- (4) 「出身大学」欄に正確な学部・学科名を必ず記入すること。また、東京大学を令和 8（2026）年 3 月に卒業見込みの者は、現在の学生証番号を記入すること。
- (5) 大学院を修了している場合も、「出身大学」欄には学部に関する履歴を必ず記入すること。また、複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、裏面の履歴に記入すること。
- (6) 「現在の身分」欄は、「出身大学」欄の大学に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。
- (7) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

2. 成績証明書に関する注意

- (1) 成績証明書は、必ず教養課程を含んだ 4 年間分を提出すること。
- (2) 大学院を修了している場合も学部の成績証明書を必ず提出すること。
- (3) 複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。
- (4) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。
- (5) 原本は各自保管すること。

3. 推薦書に関する注意

- (1) 出願者の専門領域に関わる研究面あるいは、実務面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。
- (2) 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。
- (3) 評価者は、推薦書記入後、指定のウェブサイトへアップロードすること。

4. 日本語学力証明書に関する注意

- (1) 外国人（日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く）は、必ず提出すること。
- (2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

5. 各種証明書及び提出書類等に関する注意

- (1) 外国語試験の成績証明書の取扱いについては、本入学試験案内の「外国語（英語）試験について」を参照すること。
- (2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

6. 各種提出書類等に関する注意

- (1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）「7. 提出書類等」に基づき、指定のウェブサイトより入力及びアップロードすること（入力及びアップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する）。
- (2) 「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。
- (3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。
- (4) 「自己推薦書」について、生物統計学、臨床試験、疫学研究等に関連する分野における実績があれば、その概要を記したものや目録、成果物（著書、論文、報告書等）が掲載されている URL 等を記入すること。また、生物統計学、臨床試験、疫学研究等の知識又は経験を示す証明書（例えば、統計検定合格証等）がある場合は、提出すること。
- (5) 提出書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

生物統計情報学コース案内

本学府修士課程[生物統計情報学コース]は、生物統計学の基礎から応用までを系統的に学習・習得するための専門教育をととして、適切な臨床研究の遂行能力（研究デザイン立案、計画書作成、統計解析、プログラミング、報告書作成等）を備え、医療関係者と共同して質の高い臨床研究を推進できる、高い倫理観を有する生物統計家を育成します。本コースでは、東京大学医学部附属病院及び国立がん研究センターと連携し、医療機関での実地研修教育も実施します。本コースの修了生は、生物統計業務を担う実務家として、国内の臨床研究実施機関・研究センター等での活躍が期待されます。

1. 募集人員

募集人員
10名（うち特別選考枠若干名）

2. 試験科目等

(1) 一次選考

判定は、筆記試験、外国語試験の成績証明書及び書類選考により行われる。

試 験	内 容
提出書類 (外国語(英語))	「外国語（英語）試験について」（後掲）参照
筆記試験 (専門科目)	統計関連学会連合の「統計学の各分野における教育課程編成上の参照基準」（2014年8月）に示されている、大学基礎科目程度の統計学及び医歯薬学分野の統計学について、基礎知識の習得度と活用のための思考力を問う。問題は第1問から第3問までの計3問あり、第1問は択一式、第2問及び第3問は記述式の問題を出題する。なお、第1問から第3問までの計3問について全員が解答し、解答は日本語で記述すること。

(2) 二次選考

一次選考合格者のみを対象に、オンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ（ノートパソコン等）が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。また、口述試験で、入試案内の筆記試験（専門科目）にて示されている内容について試問を行う場合がある。

試 験	内 容
口述試験	- 基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画、一次選考提出書類について総合的に行う。特に、生物統計家としての素養や長期的な展望等について問う。 - 受験票とともに郵送される「受験者心得」に記載される課題に対し、受験者による発表・質疑応答の時間を設ける。質疑応答は日本語で行う。

3. 特別選考枠

本コースの特別選考枠は、下記の条件に該当する者を対象とする。

(1) 条件

- ・ 国内の大学・研究機関で臨床試験、臨床研究または疫学研究に関する実務に従事している者
- ・ 修了後に当該施設にて臨床試験関連業務に従事を予定している者

(2) 出願時提出資料

一般選抜と同じ

(3) 試験科目

一次選考 一般選抜と同じ

二次選考 一般選抜と同じ

外国語（英語）試験について

一次選考（書類選考）における外国語（英語）の試験は下記の方法による。

本学府が指定する TOEFL-ITP は実施しない。

入学願書の所定欄の希望する受験方法に一つだけチェックすること。

なお、外国語（英語）の試験について、下記で指定する受験方法以外は認めないので注意すること。

次のア、イ、ウいずれか1つを提出する。

ア. TOEFL-iBT の公式スコアシート

※TOEFL iBT Home Edition も可

イ. TOEIC の公式認定証

ウ. IELTS 公式成績証明書

※Computer Delivered IELTS（アカデミック・モジュール）も可

【ア. TOEFL (<https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers/>) について】

○試験の種類：TOEFL-iBT とする。

※TOEFL iBT Home Edition も可

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2023年)の9月1日以降、別紙「学生募集要項(2. 出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：「Institutional Score Report」または「Official Score Report」

Institutional Score Report または Official Score Report は、ETS から東京大学大学院学際情報学府宛に直送されるものである。

受験生は、ETS に対して Institutional Score Report または Official Score Report の送付を請求する必要がある。

○提出方法：「Institutional Score Report」または「Official Score Report」の到着期限は、令和7(2025)年7月25日（金）を原則とする。ETS に対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード：0440 (U of Tokyo, Grad Sch Inter Info)」 「Department コード："99"(Any Department Not Listed)」へ送付するよう必ず請求する。

出願時に Appointment Number を記入すること。

注) 請求方法などは、TOEFL のウェブサイトで十分確認すること。

<https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers/ibt/scores/>

○注意事項：※ 各スコアの到着には約6週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくは TOEFL ウェブサイトで確認すること。

※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【イ. TOEIC (<https://www.iibc-global.org/toEIC.html>) について】

○試験の種類：TOEIC L&R とする。

※「TOEIC S&W、TOEIC Speaking、TOEIC Writing、または TOEIC SW Test」、「TOEIC Bridge Test または TOEIC Bridge」のスコアは受け

付けない。

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2023年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：「Official Score Certificate」（デジタル公式認定証）、または「Official Score Certificate」（公式認定証）をスキャンしたPDFファイルを提出すること。

団体特別受験制度(IP: Institutional Program)のScore Report（個人成績表）、スコアシートのコピーなどは受け付けない。

○提出方法：願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。
ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、事前に連絡の上、令和7(2025)年7月25日（金）正午必着で本学府にメールで提出すること。

○注意事項：不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

【ウ. IELTS (<https://www.eiken.or.jp/ielts/>) について】

○試験の種類：アカデミック・モジュールとする。

※Computer Delivered IELTS（アカデミック・モジュール）も可。

※ジェネラル・トレーニング・モジュールの成績は受け付けない。

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2023年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：IELTS 公式成績証明書（Test Report Form）をスキャンして提出すること。

○提出方法：IELTS 公式成績証明書（Test Report Form）は、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、事前に連絡の上、令和7(2025)年7月25日（金）正午必着で本学府にメールで提出すること。

また、IELTS を実施している公益財団法人日本英語検定協会の管轄オフィスから大学に成績証明書（Test Report Form）を送付するサービスを使って提出することも可とする。その場合、令和7(2025)年7月25日（金）本学府必着とする。管轄オフィスに対して東京大学大学院学際情報学府宛へ送付するよう必ず請求する。あて先は、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）表紙を参照すること。

注）請求方法などは、IELTS のウェブサイトで十分確認すること。

<https://www.eiken.or.jp/ielts/result/>

<https://www.eiken.or.jp/ielts/apply/>

○注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

生 物 統 計 情 報 学 コ ー ス
担 当 教 員 名 簿（修士課程）

学際情報学府修士課程指導教員のうち、令和8(2026)年度の担当教員は以下のとおりである。

教員名	役職	本コースにおける担当専門分野（キーワード）
上村 鋼平	准教授	生物統計学、臨床試験方法論、中間解析、Adaptive Design、バイオマーカー、ベイズ統計学
大庭 幸治	教授	生物統計学、臨床試験方法論、医学研究における研究デザイン、メタアナリシス、代替エンドポイントの評価、因果推論
小出 大介	特任教授	Benefit・Risk Analysis（医薬品）、薬剤疫学、医療情報学、診療情報解析、医療機能評価
越塚 登	教授	IoT（Internet of Things）、CPS（Cyber Physical System）、Ubiquitous Computing、TRON（The Realtime Operating system Nucleus）、Open Data、Enableware（身体障害の支援技術）
佐藤 宏樹	准教授	医薬品情報学、医薬品適正使用・育薬、医薬品市販後の調査・情報、テーラーメイド薬物治療、インシデント・アクシデント事例の収集・解析
野村 尚吾	特任講師	生物統計学、臨床試験方法論、がん臨床試験のデザインと解析、検定の多重性、中間解析、因果推論
松山 裕	教授	生物統計学、臨床試験方法論、因果推論、欠測データ解析、経時データ解析

（五十音順）